

清瀬高校 令和5年度【教科名】年間授業計画

【教科】公民

【科目/講座】政治経済

【対象】第3学年選択

【教科担当者】

島田

【単位数】2単位

【使用教科書】

政治・経済（東京書籍）

【使用教材】

最新改訂政治経済資料集最新版（第一学習社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	現代と政治 民主政治のあゆみ	社会契約説について、例えば、ロックが述べた自然権に基づく国家・政府のあり方は、現代の議会制民主主義の基盤となっていることを理解できる。 社会契約説の内容を、絶対王政や市民革命と関連付けて理解し、その影響などを説明できる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解	4
	政治体制の比較 日本国憲法の基本的 性格	議会制民主主義に基づく各国の政治制度について、議院内閣制と大統領制の違いについて説明できる。 大日本帝国憲法と日本国憲法とを比較し、さらに日本国憲法の成立について説明できる。		4
5月	基本的人権の保障	基本的人権には自由権、社会権、平等権などがあり、さらに各権利はそれぞれに細分化されていることを理解できる。 個人の尊重と幸福追求権について理解し、憲法第13条の規定が根拠となって、新しい人権が保障されるようになったことについて説明できる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 中間考査	2
	国会・内閣	日本の政治制度の仕組みについて理解し、さらに内閣が国会に対して連帯して責任を負う議院内閣制を採用していることについて説明できる。		4
6月	裁判所 地方自治	司法権の独立がなぜ重要であるのか、また最高裁判所が「憲法の番人」と位置付けられる理由について説明できる。 地方自治は住民参加による住民自治が基本であり、また首長と議会の二つの機関を中心に行われていることが理解できる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解	2
	政党政治・行政の拡大 選挙	政党は、同じ政治上の主義・主張をもつ者により組織され、政策を示し多数の合意を得て政権を獲得しようとする団体であることが理解できる。 国政選挙における衆参両院の相違点や、国政選挙と地方選挙との違いについて説明できる。		6

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
7月	日米安保と自衛隊	我が国の平和主義をめぐる憲法解釈について、最高裁の判例などに基づいて説明できる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 期末考査	2
9月	経済史 現代の企業	現代の経済に至る経済思想の流れを理解し、自由放任主義、修正資本主義、新自由主義の観点から説明ができる。 資本主義経済のあり方について、企業による資本集積と社会的責任について理解し、説明できる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解	4
	現代の企業	現代の企業には、利潤の追求とともに環境への配慮、メセナやフィランソロピーなどの社会的責任が求められていることについて説明できる。		2
10月	市場メカニズム	需要と供給の均衡をもたらす「価格の自動調整機能」があることを、A. スミスの「見えざる手」という言葉を使用して説明できる。 現実の市場においては様々な要因により価格メカニズムが十分に機能しない場合があることを事例を挙げて説明できる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 中間考査	4
	国民所得と経済成長 金融のしくみ	景気変動の要因と経済の状況や、景気や物価の安定には政府による適切な経済政策が重要となっていることなどを説明することができる。 金融機関が資金の融通を行うことで経済が成り立っていることや、日本銀行が発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行の三つの働きがあることを理解する。		4
11月	金融のしくみ 財政のしくみ	金融の仕組みについて、公開市場操作による金融政策の内容を理解し、市場に流れる通貨供給量との関係を説明できる。 財政が所得税や消費税といった租税を財源として成り立ち、社会保障費や地方交付税交付金などの歳出がまかなわれていることを理解できる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解	2
	日本経済のあゆみ	戦後の我が国において実現された高度経済成長について理解し、経済成長が社会全体に与えた影響について説明できる。 プラザ合意後の円高不況によって通貨供給量が増大し、その資金が土地や株式に流れてバブルが発生したことを説明できる。		6

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
12月	労働問題	我が国において戦後構築されてきた終身雇用制や年功序列制などの仕組みを理解し、これらの制度が近年崩れてきた要因について説明できる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 期末考査	2
	社会保障制度	日本の社会保障制度は、憲法第25条を柱に社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生の四つから成り立っていることが理解できる。		4
1月	センター演習	センター過去問題を利用して演習を行い本番になれるようになる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解	2
	個別指導	私大入試や国公立2次試験に向けての対策を個人のレベルにあわせて行う。		6
2月	個別指導	私大入試や国公立2次試験に向けての対策を個人のレベルにあわせて行う。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解	4
	個別指導	私大入試や国公立2次試験に向けての対策を個人のレベルにあわせて行う。		4
3月	個別指導	私大入試や国公立2次試験に向けての対策を個人のレベルにあわせて行う。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解	2